"しんじ"を信じる　京都府議会議員

二ノ湯しんじ通信

第24号

編集・発行
二ノ湯しんじ事務所

〒616-8167
京都市右京区太秦多薮町44-1
TEL：075-862-1355
FAX：075-862-1350
ninoyushinji@palette.plala.or.jp

今こそ、伝統が未来を拓く！

大自然と調和した潤いある生活の再生に向けて

地方創生とは生き方の転換

国政に関する報道は平和安全法制一色ですが、地方創生も極めて大きな課題です。それは、国と地方の関係の変化（地方の提案を国が呑む）や、東京一極集中の是正を実現する手段であり、最後のチャンスとされるからです。

地方からの提案は昔からありました。最近では特区制度がありましたが、どの程度機能したのか？また国の法令や規則の枠内で思考してきた地方公共団体が、それをどこまで超えられるか？国・地方ともによほどの頑張りが必要です。

一極集中是正と言っても、東京都も地方公共団体ですし、２０２０年にオリンピックを控え大事業が続きます。リニアも東京が起点で、空港も港湾も日本の中枢は東京です。しかし是正するとして、その手段に中央省庁と関連機関、企業本社の移転等を挙げますが、東京を簡単には離れられないでしょう。交通・情報・人材確保などで有利・便利だから東京にいる、であるなら、東京から離れるには「地方には有利・便利と違った価値」がなければなりません。しかし、地方は都市化を望みがちで、それは東京を支えるのと同じ価値です。東京も地方も、人の意識が変わらねばならないと思います。

この機会に日本国を、天災等に備えて、「首都圏一極」から２極、あるいは１・５極程度にするのは意義があると思いますが、多極分散はどうなるのでしょうか？

仮に２あるいは１・５極なら、関空と阪神港がある近畿圏は最有力ですが、近畿圏は首都圏の様にまとまれるか？ここも人の意識が鍵を握ります。

二つの巨大都市圏とその周辺に入らない地域はどうなるのか？とにかく人口減少は食い止めたいが、明確な将来像はぼやけている地域が多いはずです。

いずれにしても、戦後復興、高度成長、もっと遡れば明治以降の近代化の中で目指された「都市化こそ進歩」という価値だけではないとの意識改革がなければなりません。丸ノ内のオフィスで「田舎は田舎のままで良い」と言ったとある社長の話も、その意味でよく検討したいと思います。

記録的な猛暑が続き外出も憚られる日々です
過度な節電は控え健康第一でお過ごしください
気候も都市も農山村も川も海も平和も安全も・・
政治が変わらねば守れないのだと一層精進します

恒例の二ノ湯夏祭りはお蔭様で盛会に開催できました

去る８月３日に毎夏恒例の二ノ湯夏祭りを開催しましたところ、約2000名もの方々にお越し頂き、盛会に開催できましたことを御礼申しあげます。

一般社団法人
京都サムライドラマ制作委員会

― 太秦時代劇の継承と発展！ ―
代表理事　二之湯真士
http://samuraidrama.jp

ホームページもご覧下さい！
URL：www.ninoyu.net
二ノ湯しんじ　検索
◆「ブログしんじ」も随時更新中！

〈歩こう会開催のご報告〉
６月：京都縦貫道全線開通記念
７月：保津峡→嵯峨鳥居本→二尊院
８月は暑さが厳しいのでお休みします。
＊毎月第４日曜に開催

「しんじ通信」手配りのお願い
郵送費を減らし発行部数を増やすため「数ヶ月に１度、ご近所の30軒程度」手配りのご協力を頂ければ幸いです。

森林環境税（仮称）の早期導入が実現へ

私が京都府議初当選以来取り組んできた「森林環境税（仮）」ですが、去る６月定例会で、早期導入（平成28年度中）を求める決議が賛成多数で可決されました。本来は国の責任で行うべき政策ですが、既に35県で導入され、林業の活性化、森林の保全、都市緑化などに使われています。

今後、京都府では、市町村との調整やパブリックコメントを経て条例制定される予定となりました。過疎に苦しむ山村に明るい希望となるよう、また、ゲリラ豪雨の頻発等による土砂災害や河川の氾濫が少しでも食い止められるよう、しっかりとその使途についても提言して参ります。

「第１回うずまさ映画祭」が開催されます

昨年７月に私が代表理事として設立した（一社）京都サムライドラマ制作委員会ですが、皆様のご支援のお蔭で第１弾プロジェクト『鬼神剣サキ』を制作し、昨年末にＫＢＳ京都で放映されました。

今年度は、更なるご支援のもとで『鬼神剣サキ』に加え、太秦で撮影された名作や、今後の太秦を担う方々が制作した未公開作品などを取揃えて、「第１回うずまさ映画祭」が京都みなみ会館で開催される運びとなりました。

皆様、是非劇場にお運び頂き、映画祭を応援してください。どうぞ宜しくお願い申しあげます。

京都縦貫自動車道が全線開通しました

建設開始から34年を経て、７月18日に京都縦貫自動車道が全線開通しました。来年度には新名神高速道路の城陽－八幡が開通し、さらに京奈和自動車とも結ばれると、南北に長い京都府の背骨がほぼ完成します。企業立地や観光振興にも弾みがつくと、特に沿線各自治体は喜んでいます。

私も京都府の均衡ある発展のために頑張ります。

府議会報告

●６月定例会

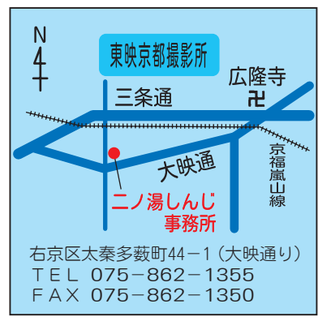
６月18日～７月７日に開催され、中小企業の人材確保対策、節電対策、最先端がん治療関連、専用球技場設計費などを柱とする約４・５億円の補正予算と若者の就労支援に関する条例などが可決されました。

●９月定例会

９月16日～11月４日に開催され、平成26年度決算の審議も併せて行われます。私も決算委員会委員として審議に参加します。

お困りごとなどご相談ください

皆様にとって、行政の仕事の役割分担は分かりにくいものです。「どこに相談に行けばいいのか？」とお悩みの時は、私の事務所まで、お気軽にお問い合わせください。



◆ともに語り合いましょう！

二ノ湯しんじは、教育のこと、環境のこと、福祉のこと、地域のこと、そして京都や日本の未来のことなど、皆様とお話をできる場をたくさん作っていきたいと考えています。時間や場所、人数は問いません。どのような会でも結構です。皆様のお声を聞かせてください。

◎お問い合わせは、二ノ湯しんじ事務所まで

6月24日 本会議質問

ここでは、紙面の都合で一部のみ掲載しています。府議会HPでは全ての質問がご覧いただけます。
■ http://www.pref.kyoto.jp/gikai/

人口問題について

（二之湯）国は活力を維持することを目的に、合計特殊出生率（1人の女性が一生に産む子供の平均数）が2040年までに2・07に回復すれば、2060年に1億人の人口が維持され、2090年頃から人口が安定するとの目標を立てた。

京都府も、それに準じて目標を設定したが、資源・エネルギー・水・食糧・気候変動など持続可能性の観点から、また、社会保障や安全保障の観点から、どう評価するか？

（山田知事）国は、2050年の実質GDP成長率が1.5～2％程度を維持するために、人口を1億人程度に止めたいというところから逆算している。現在の合計特殊出生率1・42が、2040年に2・07に改善するための具体的な手立てを示したものではない。

京都府は「第3子保育料の無償化」「子供医療費助成の拡充」など、厳しい財政事情でも頑張っている。国自体が対策に本腰を入れるよう訴えている。

（二之湯）人口の目標数値の評価に際して、知事からは、私が提示した観点からの評価が無いのは残念だ。国のGDP最優先も理解できないではないが、それだけで良いのか検証が必要だ。

また、少子化対策の主役は若者だが、当事者はあまり自覚していない。「合計特殊出生率2・07」という言葉が分かりにくいこともある。他の生き方を排除せずに、しかし「20代で結婚して3人の子供を」との人生設計を標準として率直に示し語るべきではないか？

（山田知事）若者の意識調査では「結婚はしたい」「理想の子供数は2・5人」となっているので、それを妨げる経済的な要因や出会い不足を解消したい。若者が自ら「子供をたくさん持ちたいならば早めの結婚を」との人生設計ができるよう、医学的な問題も含めて伝えていく。

国際化への対応について

（二之湯）人口減少社会では交流人口を増やすことが大切で、海外からの流入も重要だ。観光客は、京都の文化や歴史を観に来られるが、その根幹の「衣食住」の衰退は、京都（観光）の衰退に繋がる。100年先まで残るためにどう守り育てるのか？

（山田知事）和装は、特に外国人に人気はあるが需要拡大には繋がっていないので、その努力をしながら、生活文化に溶け込む和装を提示できるよう取り組む。

和食は、世界無形遺産登録を弾みとして、世界レベルでの日本料理コンペンティションの開催や府立大学での学問化などに取り組みたい。

京町家は、今なお年間に300軒超が失われている。観光や産業・町の発展という観点から、京都市と連携して、町家活用方法を検討したい。

（二之湯）大学の街として留学生を増やすことには「大学経営の安定」「交流による研究の進展」「親日家を増やす」等に意義があると思うが、今までの留学生ハウス等での生活訓練に引き続き、今後の留学生政策の具体的な道筋と施策はどのようなものを考えているか？

（山田知事）やはり「親京都派」の留学生を増やしたい。第一印象が大事なので、今までは留学生ハウス・オリエンテーションセンターを整備し日本の生活にスムーズに適応してもらえるよう努めた。今後は、京都の人と楽しく親しめる場を増やしたい。

また、今までバラバラであった府・京都市・大学・経済団体等の動きを、オール京都で設立した「留学生スタディネットワーク」で統一し、海外での留学生フェアや勧誘活動、相談窓口の一元化、京都企業へのインターンシップ・就職などに取組みたい。

（二之湯）多くの外国人が居住すると犯罪や各種トラブルの増える向きもあるが、言葉の壁がある中で、安心・安全を確立するためにどう取り組んでいくのか？

（山下警察本部長）京都府警には15言語168人を部内通訳人として、府警本部や各警察署に配置し、特に通信指令課に英語通訳可能な者を複数配置し110番通報に24時間対応できている。更なる安全・安心のための施策に取組みたい。

農林水産業の振興

（二之湯）農業の生き残りには大規模化による企業的経営が不可欠だが、農家が規模拡大すると直ちに経営力が強化されるわけではない。経営力強化に向けた現状と改善点は？

（山田知事）①財務面を含む経営ノウハウ、②農地集積など効率化、③高付加価値化、の3点から経営力強化に取り組んできて、農業法人数は平成20年度の164から276と1・7倍となり一定の成果を納めた。今後は、経営力強化のための研修のレベルアップと新商品開発・販路開拓の一層の支援をしていきたい。

（二之湯）右京区京北には、広大な山林、木材市場、大口のエンドユーザーに繋がるプレカット工場があるが、素材を加工する大規模施設がない。素材生産から建築材の販売までを行う木材産業モデルを確立ために、大規模加工施設の立地支援を行うべきだと考えるが、いかがか？

（山田知事）木材産業の成長産業化を目指す中で、京都府には大断面集成材を製造する大型加工施設がないので、これを解消したい。「立地促進のための協議会」を立ち上げ、場所や規模などの検討を急ぎたい。

（二之湯）内水面漁業協同組合は、組合員の高齢化と減少、遊漁券販売の不振などで経営状況が悪化している。組合が解散すれば、稚魚の放流などが滞り河川環境も悪化すると懸念するが、現状認識と対策を伺う。

（山田知事）漁協は非常に公益的な役割を果たしているが、レジャーの多様化などで遊漁券販売は10年前の半分になり経営は厳しいと認識している。放流量の見直しや産卵場所の造成などの減少対策に加え、スポーツフィッシング等ニュービジネスによる多角化を図る他、「森の京都」事業に関連付けて支援する等したい。

選挙教育について

（二之湯）投票率の低下は、より多くの国民が社会に無責任になることにつながる。模擬投票や高校生の生活に即して実感が得やすい政策テーマに関する授業を、高校教育に導入すべきだ。

（小田垣教育長）公職選挙法の改正（18歳で選挙権）に伴う必要な対応を始める。議会傍聴、模擬選挙公報作成、模擬投票などを行っていく予定だ。

〈身辺雑記〉

○太秦自治連合会では、太秦小学校の4年生を対象に、天神川で金魚を捕る親水事業を実施している。かつて川は、魚など食糧を捕り、物を洗い、筏を流し、子供が遊ぶ身近な存在だったが、今はそうではない。山にマキや木の実・山菜等を採りに行くこともないどころか、草花を育てる習慣も廃れている。「自然との共生」が必要な時代に考えさせられる。

○小学生の頃、父とパズルを完成させた。とはいえ、多くは私が寝ている間に父がしていた。私も「息子とするぞ」と、二男が選んだ金閣寺のパズルを購入し、気持を高めるために参拝もした。しかし、作業スペースを考え「世界極小のマイクロピース」の1000ピースにしたので、私にも難しく、子供はすぐに疲れてやめてしまう。ということで、頓挫しているが、何とか完成させたい。

○長男は動物より乗り物、二男は乗り物より動物が好きだったが、三男も乗り物が好きだ。家ではプラレールやトミカでよく遊ぶ。みやこめっせのイベントでの記念の1枚。親の意のままに衣装を着るのは、さていつまでだろうか。

○お墓参りで子供にスポンジやタワシを持たせると、はしゃいでお墓をゴシゴシ磨く。「ご先祖様いつもありがとうございますと手を合わせなさい」と言うと、素直に従う。しかし、私の読経の最中はウロウロするし、関心はお供えのお菓子にしかなさそうだ。それでもお参りすることに大きな意味がある。

○毎夏恒例の都道府県議会野球大会が静岡県で行われた。私は1番サード。今回もブロック優勝を目指したが、準決勝で岐阜県議会に10対9で惜敗した。しかし、我ながら攻守によく頑張ったので、非常に清々しかった。